

第3回 学術集会

第3回 学術集会

テーマ： 明日から役立つ支援方法 – 5つの視点から –
日程： 2016年8月6日（土）～8月7日（日） 10:00～18:00（両日）
場所： 南大沢文化会館 交流ホール
〒192-0364 東京都八王子市南大沢2-27
実行委員長： 星山 麻木（明星大学教育学部 教授）

学術集会 プログラム

平成28年8月6日（土）【第1日】

10:00 開場・受付開始

10:30 開会あいさつ

10:45 ↓ ワークショップⅠ「世界のおもちゃで協働学習」 講師：星山麻木 協賛：(株)ポーネルンド



星山麻木（ほしやまあさぎ）
明星大学 教育学部教授
保健学博士・音楽療法士
子ども家族早期発達支援学会 会長



世界の優れた玩具で協働学習による体験ワークショップをしよう☆
欧米を中心に世界には子どもの発達を考慮し、素材選びから丁寧に作られた優れた玩具が多数あります。今回はその玩具で実際に遊びながら、どのような目的で子どもの発達を支えていくのか、共に考え、学び合います。（協賛：(株)ポーネルンド）

12:15 昼食休憩

13:30 ↓ 講演「多様性を尊重した支援の視点」 講師：品川裕香（教育ジャーナリスト・編集者）



品川裕香（しながわ ゆか）
教育ジャーナリスト・編集者
兵庫県生まれ。早稲田大学法学部卒業。出版社で雑誌・書籍の編集に12年携わった後、2000年に独立。教育・医療・社会問題を異文化理解・予防的観点から取材執筆。国内外の教育現場（いじめ・不登校・虐待からLD・ADHD・アスペルガー症候群など特別支援教育、非行など矯正教育まで）、子ども・保護者・教師・支援者たちの思いを多角的に取材執筆。一方で、週刊誌『女性自身』（光文社）で2003年より現在まで、毎週著者インタビューと書評を連載。

14:45 ↓ シンポジウムⅠ「多様性を尊重した支援の視点」 登壇者：星山麻木・田中哲・品川裕香 司会：藤原里美



星山麻木
（ほしやま あさぎ）
明星大学 教育学部教授
保健学博士・音楽療法士
子ども家族早期発達支援学会 会長



田中 哲
（たなか さとし）
東京都立小児総合医療センター
副院長



品川裕香
（しながわ ゆか）
教育ジャーナリスト・編集者



藤原里美
（ふじわら さとみ）
東京都立小児総合医療センター
子ども家族支援部主任技術員
保育士・臨床発達心

16:00 ↓ ① ワークショップⅡ「パペット作って、パペットで遊ぼう」

講師：相澤るつ子（イラストレーター・絵本作家）



相澤るつ子（あいざわるつこ）
イラストレーター・絵本作家
表現アートファシリテーター・クリエイティブジャーナルリーダー

私たちの心のなかには、たくさんのパーソナリティがぎゅうぎゅう詰まっています。パペットたちに姿を借りて、自由に羽ばたかせましょう。計画したりしないで、何が飛び出してくるか、わくわく楽しみましょう！使っていない脳細胞が活性化して、リフレッシュになりますよ！

※ワークショップⅡとFika（フィーカ）は、同時刻、同会場で行いません。どちらもご参加いただけます。

② Fika（フィーカ）お茶を飲みながら、楽しく懇談しましょう☆

18:00 終了

平成28年8月7日（日）【第2日】

9:30 開場・受付開始

10:00 研究発表（口頭発表）

- ①10:00～10:15 原口 恵（東京都立小児総合医療センター）
テーマ：発達障害学童児の療育ニーズ調査
～療育グループ利用児の保護者の要望から
- ②10:20～10:35 佐々木沙和子（明星大学大学院）
テーマ：発達の早期段階において保護者が求めるソーシャルワーク機能
～診断の有無による違いに着目して
- ③10:40～10:55 大畑恵美子（調布市子ども発達センター）
テーマ：心を理解するために思考の転換を促す保護者支援の考案
～心を可視化する風船プログラム
- ④11:00～11:15 佐藤 伸枝（瑞穂町立第二中学校）
テーマ：通級指導学級と通常の学級との連携
～学び合い、支え合う関係づくりをめざして
- ⑤11:20～11:35 近藤万里子（帝京短期大学子ども教育学科）
テーマ：中学校通常学級における多様性の尊重の授業
～マルチプルインテリジェンスを参考に
- ⑥11:40～11:55 三宅 浩子（札幌国際大学）
テーマ：子育て支援活動のインクルーシブ化に向けて
～「音楽と遊びの親子ワークショップ&のんな農園のお昼ご飯」を通して

12:00 昼食休憩
研究発表（ポスター発表）の質疑応答

13:30 ↓ ワークショップⅢ「子どもの多様性に合わせた遊び」 講師：藤原里美



藤原里美（ふじわらさとみ）
東京都立小児総合医療センター 子ども家族支援部主任技術員
臨床発達心理士・保育士

環境から情報を受け取り、脳で整理整頓して行動する・・・この「認知」の力に偏りがあると生活や学習に難しさを抱えます。「認知」の力を伸ばす、子どもを発達させる遊びを体験しながら学びましょう。また、みんなで遊びを考えてみましょう。

14:30 研究発表（口頭発表）

- ⑦14:30～14:45 伊東 祐恵（明星大学大学院）
テーマ：保育場面における発達が気になる育てにくい乳幼児への関わり方の視点
～運動発達のおくれを伴う自閉スペクトラム症児の乳幼児期の行動特徴から
- ⑧14:50～15:05 篠原 弥生（埼玉県立深谷はばたき特別支援学校）
テーマ：特別支援学校卒業後の生活を見通すために必要なこと
- ⑨15:10～15:25 小川 久恵（札幌国際大学短期大学部）
テーマ：幼児の人とのかかわりを促す支援者のかかわり
～音楽療育ワークショップの活動を通して

15:30 研究発表総評

16:00 ↓ シンポジウムⅡ「明日から役立つ支援方法」 登壇者：星山麻木・汐見裕幸・中川信子 司会：田中哲



星山麻木
（ほしやま あさぎ）
明星大学 教育学部教授
保健学博士・音楽療法士
子ども家族早期発達支援学会 会長



汐見裕幸
（しおみ としゆき）
白梅学園大学学長
東大名誉教授



中川信子
（なかがわ のぶこ）
一般社団法人
子どもの発達支援を考える
STの会 代表



田中 哲
（たなか さとし）
東京都立小児総合医療センター
副院長

17:30 閉会あいさつ

18:00 終了